



News Letter

2021
March
2021年3月



国際ワークショップ ラオス国立大学出の様子

Risk Analysis Research Center

CONTENS

- 01 1. 今月のトピックス
- 01 2. 各プロジェクトからのお知らせ
 - 金融・保険リスクの計量化と戦略的制御プロジェクト
 - データ中心リスク科学基盤整備プロジェクト
 - リスク基盤数理プロジェクト
 - 環境情報に関する統計解析手法開発プロジェクト
 - 資源管理リスク分析プロジェクト
 - 地震予測解析プロジェクト
- 02 3. センター事務局からのお知らせ

1. 今月のトピックス

- 1月7日より発出された再度の緊急事態宣言の解除が見通せない状況です。2月中に、コロナ禍の収束に目途がついている現地側ではメンバーが実際に集合、日本側スタッフはオンラインで参加といったハイブリット形式での国際ワークショップを実施いたしました(資源管理リスク分析プロジェクト)。このように有意義で充実したシンポジウム・ワークショップの開催を今後も推し進めてまいります。

2. 各プロジェクトからのお知らせ

■金融・保険リスクの計量化と戦略的制御プロジェクト

- 2021年5月17-18日 金融シンポジウムを実際に会場を借りて開催する予定でした。東京オリンピックの開催状況等を見極めた上で判断したいと考えていましたが、なかなか決まらず日程を後ろにずらす、若しくはオンライン開催の可能性も出てきています。感染状況等のデータが急激に変動していることもあり難しいところではありますが近々に判断する予定です。

(所内責任者: 山下 智志 教授)

■データ中心リスク科学基盤整備プロジェクト

- 2月15日 令和2年度革新的自殺研究推進プロジェクト(研究代表: 椿広計 統計数理研究所長)のワークショップが開催されました。第1回のテーマがオンサイト利用ということで、南和宏教授と客員准教授の高部勲先生がチュートリアル講演をしました。
- 公的統計マイクロデータ研究コンソーシアムの、「公的マイクロデータ・オンサイト利用施設の利用状況・利用意向およびコンソーシアムへの要望・意見を伺うためのアン

ケート」は実施準備中です。詳細が確定しましたら公的マイクロデータコンソーシアムのウェブサイトに掲載の予定です。

(所内責任者: 南和宏教授)

- 3月13日 第15回日本統計学会春季集会において、マイクロ統計の企画セッションを開催する予定です。当センターからは山下智志センター長と張俊超特任助教が発表予定です。

<https://confit.atlas.jp/guide/event/tjss2021spring/top>

■リスク基盤数理プロジェクト

- 来年度 二宮嘉行教授が中国の方を中心に統数研に招いてAIC(Akaike's Information Criterion)に関する研究集会の開催を予定しています。

(所内責任者: 二宮嘉行教授)

- 来年度 コロナの影響で今年度は延期となってしまったウルム大学(ドイツ)との国際ワークショップは、東北大学の松田安昌教授の主催で行われる予定です。

(所内責任者: 栗木 哲 教授)

■環境情報に対する統計解析手法開発プロジェクト

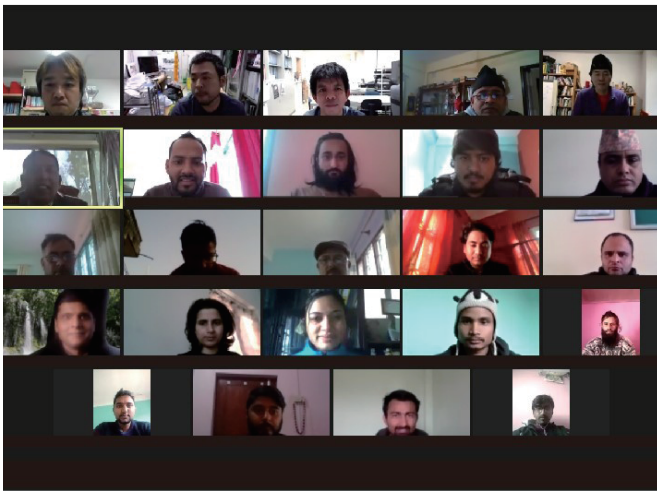
- 3月24日 ISMと協定を結んでいるANUの研究者と統計数理研究所の加藤昇吾准教授・間野修平教授の協力を頂き、オンラインでのワークショップの開催を予定しています。コロナの状況下、例年のようにISMシンポジウムとして一堂に会しての開催が出来ない中、研究交流を続けていくことを考え、このような形式で開催することになりました。是非ご参加ください。

(所内責任者: 金藤浩司 教授)

■ 資源管理リスク分析プロジェクト

- 1月26-27日 2日間に渡り, Institute of Forestry Pokhara Campus (トリヴァン大学・ネパール) との共催により, Asian Agri-Forest Resource Management Research Consortium Online Workshop for Statistical Analysis with 'R' をオンラインワークショップとして開催しました。2日間で、延べ93名が参加しました。

(所内責任者: 吉本敦 教授)



Institute of Forestry Pokhara Campus 共催のオンラインWS

- 2月16-17日 ラオス国立大学(ラオス)にて国際ワークショップ「Applied Statistical Analysis with "R" Software for Forestry Studies」を開催しました。ラオスはコロナ禍がほぼ収束しているため、現地側では参加者が実際に集まり、日本側はオンラインでの参加というハイブリット形式での開催となりました。

(所内責任者: 吉本敦 教授)

- 3月13-14日 オンラインによるFORMATH国際シンポジウムを予定しています。
- 3月16-17日 オンラインによる国際インターンシップを予定しています。

(所内責任者: 吉本敦 教授)



ラオス大学での国際ワークショップ

■ 地震予測解析プロジェクト

- 来年度6月若しくは月頃 London Mathematical Laboratory summer school project on "multivariate Hawkes processes" を予定しています。
- 「統計数理」特集「Hawkes 過程の新展開と応用」の編集は順調に進行しています。

(オーガナイザー:

庄建倉准教授, 小山慎介准教授, 野村俊一助教)

- JPGU での企画セッションの計画は順調に進んでいます。

3. センター事務局からのお知らせ

- 2月のリスクセンター運営会議の議題
 - ・ PD 公募の状況
 - ・ 本年度予算の執行予定の確認
 - ・ 来年度予算について
 - ・ 来年度のリスク事務局の運営について
 - ・ 各プロジェクトからの報告
 - ・ その他
- 次回の会議は
2021年3月10日(水) 11:00 ~ の予定です。